



## 第61回 千葉県更生保護大会



平成29年11月16日:野田市文化会館

### 会長職を経験して



市川浦安地区保護司会  
会長 本司 俊喜

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、新会長に任命されて以来、瞬く間に8ヶ月が過ぎました。その間には実際に多種多様な15回程の会議等に当会会長としての出席を要請され、訳も分からぬままに出席して参りました。保護観察所主体の保護司代表者協議会、保護司会連合会、同理事會等の會議はもとより、保護司会に関連する団体の「更生保護女性会」及び「BBSの会」、等の総会及び式典にも出席して参りました。振り返りますと、それら全ての会合においては感心させられる事が多く、沢山の知識を得る事が出来たのも会長職を与えた恩恵であると会員の皆様に感謝している次第です。

私が新人保護司の頃、年間4回の定例研修会で得た知識は毎月の対象者との面接にとても有効であり、毎月末に各面接の報告書をまとめ上げて提出する、といったルーティンワークを淡々と行っていました。その頃は、観察所及びその関連組織等について余り深く考えた事もありませんでした。もっと早くからそれらについての知識を得ていればいろいろな社会資源を有効に活用する事が出来、保護司活動も更に深く、円滑に実施出来たのではないかと考えています。

さて、当地区の保護司数についてですが充足率は定数100名に対し75%程で県内ワースト2位という状況が数年続いています。昨今、日本全体の保護司会において団塊世代の定年問題が取り沙汰されていますが、当地区では定数を大幅に下回っている上に団塊世代の先生方が同時期に定年を迎える頃には充足率は危機的状況になる可能性があります。従つて、早急に新人保護司の確保が必要であるという事はご理解頂けるものと思います。その為には現役保護司の皆々様のご協力しかありません。是非とも積極的にご検討下さい。

皆様のご健勝とご多幸を祈念し、更には新人保護司の発掘をお願いしご挨拶とさせて頂きます。

## 受章報告

平成29年秋の叙勲において、飯田勝子保護司が瑞宝双光章を受章されました。おめでとうございます。

### 表彰

平成29年11月16日に野田市で開催された第61回千葉県更生保護大会において、次の方々が、永年の功績により顕彰されました。  
おめでとうございます。(敬称略)

#### 瑞宝双光章

飯田 勝子 (南ブロック)

#### 法務大臣表彰

湯浅 精一 (東ブロック)

#### 関東地方更生保護委員会委員長表彰

戸嶋 智員 (東ブロック)

山崎 晶司 (西ブロック)

松本 利美 (西ブロック)

鵜澤支津子 (南ブロック)

田島 宰浩 (南ブロック)

片桐 民子 (北ブロック)

石神 巖 (浦安ブロック)



式典の様子



受彰者の皆さん

#### 千葉保護観察所長表彰

小林 俊之 (西ブロック)

宇佐美 敬 (浦安ブロック)

#### 千葉県保護司会連合会会長表彰

山崎 陽 (西ブロック)

平野 俊斎 (北ブロック)

川口 利治 (浦安ブロック)

#### 千葉県知事感謝状

小山内 仁 (東ブロック)

赤塚 哲朗 (南ブロック)

富山 勝夫 (浦安ブロック)

### 法務大臣表彰を受彰して

湯浅 精一 (東ブロック)

職人として日々を過ごす私にとって、コミュニケーションを大事とする保護司は務まるかと不安もありました。人前で話すことに慣れるようそれなりの努力も重ねました。いろいろな方との出会いや研修で学びながらの日々で、気付くと法務大臣表彰でした。妻(元教員)の仕事がら、中学生の更生に助力して柔軟な少年の心に触れ、寄り添う大人の必要性を感じました。多くの対象者が巣立ち、再犯のないこと願いながら今後も励みます。

## 一泊研修に参加して

片桐 民子（北ブロック）

平成29年9月13日 残暑の中、参加者24名「福島自立更生促進センター」を視察しました。

センター前の下り斜面は一面グリーンシートで覆われた不思議な光景、聞くところによると原発汚染土壤の仮置き場であるとか。

当センター福島保護観察所に設置されている全国に4か所しかない国の更生保護施設（民間の施設は103か所）です。

入所者は再犯を繰り返し、親族や民間施設にも引き受けでもらえない仮釈放の成人男性（定員20名）。満期と仮釈放では出所後の再犯率に大きな差があるため、一人でも再犯者を減らす目的で平成20年7月に竣工され、入所中はセンターに宿泊し、保護観察官による様々な指導や就労支援を受け、社会復帰・自立を目指しています。

近くに各種学校があり竣工当時は、地域の猛反対運動で開所に至らず、2年間の話し合いを経て平成22年8月



平成29年9月13日 福島更生促進支援センター

ようやく条件付きで開所され、性犯罪等の対象者は受け入れない。入所人数は9名まで（現在は12名に）、仕事場まで車で送迎すること等々の取り決めがあるそうです。

現在も月1回運営に関する第3者会議を開き、情報公開や意見交換を続行、その努力が実り今は、地域の協力が得られるようになりました。



平成29年9月14日 五色沼

## さいたま少年鑑別所を視察して

鈴木 茂年（北ブロック）

7月26日

さいたま少年鑑別所で研修を行いました。施設内には非行防止相談室もあり地域に密着した開かれた施設のように感じました。所長の説明後施設内を案内されましたが、少年達が暮らす単独室は3帖ほどの細長い小さな部屋で中に入ると大きな圧迫感でストレスを感じました。部屋には少年達のためにぬいぐるみもあり、強がついていてもやはり子どもだなと思いました。

## 警視庁を視察して

上平 紀子（浦安ブロック）

11月8日、警視庁を視察してまいりました。

警視庁の活動を紹介する映像を視聴した後、通信指令センターでは、東京23区からの110番通報の受理状況を窓越しに説明していただきました。

また、警視庁創設（明治）以降の歴史的な事件、災害など警視庁に関する貴重な資料1000点余りが、展示されている警察参考室も見学させていただき24時間体制で東京都民の安全、安心の確保に努めておられる警視庁の皆さん様々の活動を知ることができ、大変有意義な視察研修となりました。

人々の「ピープル」と警察の「ポリス」の頭文字をとつて名付けられたマスコット「ピーポくん」の活躍を期待しています。



平成29年7月26日 さいたま少年鑑別所

